

一番すぐれているのは愛です

神様の言葉である聖書の中に、私たち人間にとって「一番大切なものは何か」ということが書かれています。それはチャペル式結婚式で必ず読まれる聖書の言葉です。

「こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。愛を追い求めなさい。」第1コリント13章13節、14章1節
今日は、夫婦と親子と友人との関係の中で「愛について」学んでみましょう。

---- 夫婦 ----

ギネスブックに「世界で最も長寿の夫婦」として記録されたイギリス人の105歳と100歳の老夫婦がいました。妻は教会学校の先生で村の小さい教会で結婚しました。2人は80年間幸せに暮らしました。「どうやったら長い間、幸せに暮らすことができるの？」と聞きました。

夫は言いました。「妻にいつも「愛しているよ」と言っています。」

妻も言いました。「私はいつも主人に「ごめんなさい」と言っています。」

「愛しているよ」「ごめんなさい」と毎日のように言ったおかげで、二人は、長生きして、そして今日まで幸せに暮らしたのです。

この夫婦は生涯、お互いが暖かい心で、お互いを配慮しながら暮らしました。けんかをしたこともありました。その時も神様の愛で赦し合いながら暮らしました。

人は誰でも愛されたい、認められたいと思っています。特に夫婦は、互いに認められて、愛されたいと思っています。この健全な夫婦生活が長生きできる秘訣だそうです。でもそうはいっても、完全にぴったり合う夫婦はそうはいないでしょう。

どうしたらよいのでしょうか。1つの秘訣は、夫婦愛に条件があつてはならないということです。相手を条件なしに愛さなければなりません。相手の性格を変えようとしても、相手は絶対に変わりません。夫は妻を変えられないし、妻も夫を変えられません。ぜひ条件なしに愛してください。そうすれば、神様が相手を変えてくださいます。人間が相手を変えることはできません。条件なしに愛して祈ったら神様は私も変えてくださいます。

---- 親と子供 ----

「父の学校」国際運動本部長のキム・ソンムク長老は著書「いいお父さんになるプロジェクト」の中で、いい父親になる方法のひとつは「愛を表現しなければならない」ことだと言っています。そして愛情を表現する方法を次のように説明しました。

・第1に、「愛しているよ」と言うことです。子供に「お父さんとお母さんはお前を愛しているよ」と繰り返し、繰り返し言ってあげてください。（実は父親が子供に愛情を表現することを照れくさいと考えて、必要以上に話さないことが、父親の権威を象徴しているというのは、伝統的な儒教の教えです。）ある調査では50%以上の青少年が両親に「今でも本

当に私を愛しているの？」と聞きたいそうです。

・第2は、祝福の祈りをしてあげることです。してはならないことは、祈りながら、教訓的なことを言ったり、お説教をしたり、相手を引き上げようとしたり、悪いところを指摘したりすることです。本当の祝福の祈りだけをしてあげてください。クリスチャンでない方は心から子供の幸せを願ってあげてください。この気持ちは必ず伝わります。

・第3は、よく抱きしめてあげることです。アメリカの調査では、家出した少女の90%以上が、父親との接触欠乏症でした。シングルマザーの70%以上が父親不在の環境で育った女性でした。特に女の子は叱られると傷つきやすく、両親に本音を話さなくなります。そして男性の誘惑に簡単に負けてしまうことが多いのです。

・第4は、携帯電話でメールをよく送ることです。本当は顔を見て話すのがいいのですが、メールも対話の道具のひとつになります。

このように「愛している」とよく言ってあげて、祝福のお祈りをしてあげて、子供の幸せを心から願ってあげて、「よく抱きしめてあげて」スキンシップをしてあげて、携帯のメールで対話すると、子供は両親から愛情をたっぷりもらって、心も体も安定的で健全な発達をすることができます。おいしいものを食べさせたり、いい服を着せたりすることではありません。子供への愛情が基本的な人格を成長させるのです。

なぜなら、人間にとって最も重要で霊的な、精神的な栄養素が愛だからです。

---- 友人 ----

私たちは友人を、隣人を愛さなければなりません。隣人がいつもそばにいるのに無視して暮らすことはできません。聖書の中に、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。これらよりも重要な命令は他にありません。」マルコ 12:31 「わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」ヨハネ 13:34、35 と書かれています。

---- 具体的に、どの様に 愛するの？ ----

ではどの様に隣人を愛すれば良いのでしょうか。招待してご馳走をしてあげることでしょうか？そうではありません。

・第1に、隣人を愛する人は、隣人の過ちを見て見ぬふりをします。「・・・愛は多くの罪をおおうからです。」第一ペテロ 4:8 気がつかない振りをするのです。(恥を)隠してあげるのです。それが神様の愛です。

・第2は、愛と幸せを分かち合ってください。隣人が大変な時や困っている時は、一緒にいてあげてください、喜びも悲しみも一緒に分かち合ってください。「この世の財を持ちながら、自分の兄弟が困っているのを見ても、その人に対してあわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているのでしょうか。子どもたち。私たちは、ことばや口先だけではなく、行いと真実を持って愛しましょう。」第一ヨハネ 3:17、18

・第3は、隣人に会うときには、いつも笑顔で接してあげてください。会うたびごとに喜んであげると「私を愛してくれているんだな」と、すぐわかります。笑顔でいつも接して

くれると「私は愛されているんだな」と気がつきます。だから会う度に笑顔で接してあげてください。朝会った時も笑顔、お昼に会った時も笑顔、夜会った時も笑顔で喜んであげることが、隣人を大切にしていることになるのです。アンコールです。愛は繰り返すのです。笑顔でアンコール、また、アンコールです。

・第4は、ほめてあげてください。どんな小さなことに見えることでも探してみましょう。神に喜ばれることは、拍手してほめてあげることです。過ちはおおい隠して、良いことは大きくほめてあげる、これが隣人愛です。

---- 本当の友達とは？ ----

ロンドンタイムズが「本当の友達とは」という定義を募集したことがありました。そして、その中から最も優秀な3つを選びました。

・1つ目は、“友達は世界中の人が私を見捨てても私に会いに来てくれる人”でした。

会いたい時だけ会いに来るのは誰にでもできます。でも私がとても寂しい時、辛い時、悲しい時、見捨てられた時、その様な時に会いに来てくれるのが本当の友達なのです。

・2つ目は、“友達はとても辛くて誰にもいえない時に、全てを理解してくれる人”でした。ただ何も言わなくて、一緒に座って、手を握ってくれる人です。それ以上何も言う必要はありません。ヨブの友達のように悪口を全て言ったら、それは友達ではありません。

・3つ目は、“友達はうれしさが倍になり、悲しみを半分にしてくれる人”でした。友達に会っても何の変化がなくては意味がありません。でも会うと喜びが倍になり、悲しみが半分になる。その様な人が本当の友達ですね。

---- 愛が一番 ----

さて、聖書は「信仰、希望、愛」の中で、愛が一番だと言っています。愛さえあれば生きていけます。愛がなければ全て意味がありません。しかし、この愛を人間の中で見つけるのは簡単ではありません。厳しいこの世で、お互いを利用したり、裏切ったり、憎みあっているために愛を見つけることは出来ません。でも私たちはイエス・キリストの中に本当の愛を見つけることができます。

神様はこの世をどれだけ愛されたのでしょうか。御子を下さる程にです。この神の愛を無視することはできません。自分の中に愛がないことに絶望し、生きる自信を失って座り込んでいるそんな私たちにイエス様は言われました。「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイ 11:28 節) イエス様の所に行き、イエス様から愛されたことを知った人は、その愛で、やがて妻を、夫を、子供を、隣人を愛せるようになれるはずです。若い方はきっと素晴らしい恋愛をすることができるでしょう。人間の愛の中に、神様の愛がスパイスの様に注がれると、ひと味違う豊かな愛に変わります。神様と共に長くいればいる程、神の愛に満たされていくのです。そして、そんなキリストの愛が私たちにこの世で生きていく勇氣と力を与えてくれます。ぜひこの神の愛が皆様にあふれるようにとお祈りいたします。